

## 第3回 「企業行動の情報発信」研究会 概要報告

- ・ 日時：平成22年2月5日（金） 16:00～18:00
- ・ 場所：中央合同庁舎4号館1219～21室
- ・ 出席者 22事業者・団体 30名

### <議事次第>

1. 開会挨拶
2. 「企業行動の情報発信」研究会の進捗状況報告
3. FCPの今後の展開について
4. 企業行動の情報発信研究会の振り返りと今後の展開について
5. 事務局からのご連絡
6. 閉会

### <議事概要>

はじめに、フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）の神井チームリーダーから、開会のご挨拶と、今年度のプロジェクトにおいて工場監査シートや工場監査シートなど成果が出始めていることなど、プロジェクト全体の進捗と本研究会への期待についてコメントいたしました。

続いて「失敗から学ぶ情報発信のあり方」についてファシリテーターの元吉様、「マスメディアとの意見交換のあり方」については事務局から、「消費者との対話のあり方」についてはファシリテーターの田井中様から、各分科会の取組と成果について配布資料に基づいてご紹介いただきました。

その後、事務局から FCP の今後の展開についてご説明を行い、参加事業者の皆様から研究会にご参加いただいたのご感想、期待や要望などコメントをいただきました。

### <議事>

#### 1. 分科会の進捗と成果について

##### (1) 失敗から学ぶ情報発信のあり方分科会

全5回の分科会を開催。幹事企業、参加企業から提供いただいた緊急時における情報発信の事例を基に、緊急時に発生した想定外の事象と、それらに対してどう対応すべきかについて意見交換を行った。その後、消費者行動、リスクマネジメント、消費者心理といった分野の有識者の方から講演をいただくと同時に、これまでの意見交換について見直しを行った。

【分科会の成果】分科会における意見交換のまとめ。有識者の講演録

##### (2) マスメディアとの意見交換のあり方分科会

全4回の分科会を開催。新聞、雑誌、Webといった媒体の関係者を招聘し、食に関する情報発信の現状や考え方についてお話いただくと同時にワークショップや食品事業者が消費者向けに発信している情報について意見交換を行った。意見交換を通じてメディアも食品事業者と同様、読

者・視聴者が安心して暮らせる為の情報を発信している一方で、立ち位置の違いから情報発信に対するアプローチは異なることなどを実感。メディアを通じた情報発信の仕方、対象とする消費者に情報を的確に伝えるための情報発信の仕方について学んだ。

【分科会の成果】 メディア関係者による講演録

### (3) 消費者との対話のあり方分科会

全5回の分科会を開催。ステークホルダーエンゲージメントの重要性が高まる中、食品事業者と消費者との間における相互信頼の構築を目的として、実際に消費者と対話した経験、各社の対話手法の集約、意見交換などを通じて本年度のFCPダイアログシステムをまとめました。来年度以降、このダイアログシステムを実践していきたい。

【分科会の成果】 FCP ダイアログシステム

## 2. 研究会活動に関する意見交換

研究会の後半では、神井チームリーダーよりFCPの今後の展開について、お話いただいた後、参加企業の皆様より、分科会および協働の着眼点の活用についてのご意見、ご感想を頂戴しました。

### (1) 「失敗から学ぶ情報発信のあり方」分科会の感想

- 非常時にどうするかというより、平時に信頼関係を気付く取り組みをどうしていくかということの重要性を学んだ。
- 現場の生々しい話を聞くことが出来、その上で有識者の講演を聞くことが出来たのは大変有益だった。
- 一人で気付きを得るのは難しいが、各社の取り組みを聞いて勉強になった。こういう場で、話をするのは非常に難しいが、幹事企業をはじめ事例提供を頂いた企業のおかげで互いに高め合う建設的な意見交換が出来た。

### (2) 「マスメディアとの意見交換のあり方」分科会の感想

- メディアも、事業者も正しい情報を消費者に伝えたいという気持ちは変わらないことを実感する一方で、それぞれの立ち位置、アプローチの違いがあることを改めて認識した。
- 事業者は、メディアの先に消費者がいることを念頭において行動をしていかなければいけないということ学んだ。

### 「消費者との対話のあり方」分科会の感想

- これまで異なる業種の方と普段情報交換できる場がなかったが、それぞれの立場で条件は違えども悩んでいることは同じということが分かった。
- 企業の情報発信の手段を学ぶことが出来てよかった。規模、業種、立場は違うが、皆さんが同じ目的で努力している事に気付いた。

- 消費者は、企業の情報発信を望んでいると感じた。

(4) 参加企業の皆様からの来年度以降の活動についてのご意見

- もう少しすこし中小の事業者の話も聞きたい。
- FCPが広く、深くなってきているので、情報交換の場が活性化することを期待している。
- 今後もこういう中立の機関で、有事の対応と考え方についての整理を続けていく必要があると感じた。

<配付資料>

資料1	参加者名簿
資料2	平成 21 年度「企業行動の情報発信」研究会資料
資料2-1	失敗から学ぶ情報発信のあり方分科会 まとめ
資料2-2	ダイアログシステム(案)
資料3	次年度以降の FCP 活動に関するアンケート 協働の着眼点(詳細版)[製造版] 成果報告会案内 作業グループ資料 Foodex 案内資料

以上